

地域と学校の協働通信

令和5年5月17日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第10号

報告

学校運営協議会機能を取り入れた、開かれた学校づくり協議会 小中のモデル校 第1回協議会

第9号でお知らせした、学校運営協議会の機能を有する「開かれた学校づくり協議会」のモデル校である、**境南小学校**と**第一中学校**の第1回協議会が、それぞれ行われました。
本号では、その様子をお伝えします。



境南小学校

第2回は、
6月19日です

冒頭、今年度着任した杉谷校長先生は、委員さんの緊張を和らげるゲームを取り入れるなど、和やかな雰囲気を作りつつ、「皆さんと共に創っていきたい。」と協議会の充実に向けた決意を語りました。

プレ熟議では、「行くのが楽しい学校」のためにできることについて、委員さんのご経験や得意なことを反映した様々な考えが交流され、今後の熟議につながるものとなりました。



第一中学校

第2回は、
6月13日です

元気な生徒たちの声が聞こえる昼休みの時間から会が始まりました。

中嶋校長先生から学校経営の基本方針等を聞いた後、プレ熟議では、「一中生のいいところや身に付けてもらいたい力は何か」をテーマに協議を行いました。時間の経過につれてやり取りにも熱が入り、「誰とでもあいさつができる」「自分の考えをもっと発信してほしい」など、生徒の姿が具体的に浮かんできました。



両校とも、会長・副会長が決まり、次回の協議会からは、会長・副会長の進行で協議が行われます。充実した協議・建設的な協議の実現に向けては、モデル校に限らず、「開かれた学校づくり協議会」の委員さんには、あらゆる機会を通して学校や児童・生徒の様子をご覧いただき、児童・生徒や教職員の実状、直面する課題・悩みなどを実感的に理解していただくことを期待します。

なお、モデル校で取り入れている「熟議」（通信第9号参照）を「やってみなければ、どうすれば？」という学校があれば、教育推進室までお問い合わせください。



「もっともっと」地域コーディネーターをご活用ください！

市では平成 28 年度から地域コーディネーターを全校に配置し、その目的は、「開かれた学校づくり協議会」や P T A、地域の団体等と協力しながら、学校支援人材に関する学校への情報提供と、その連絡調整にあたることとしています。

今年度は、複数配置を可能としたことなどから、新たに 8 名の方をお迎えしました。また、今年度から、地域コーディネーターについては、社会教育法に規定する「地域学校協働活動推進員」の位置付けとなりますが、活動内容についてはこれまでと変更ありません。

今年度の地域コーディネーターの皆さん

☆印は、新規の方です

第一小学校 平田由美子さん
第二小学校 後藤 肇さん
第三小学校 齋藤 理恵さん
第四小学校 ☆伏見 奈美さん
第五小学校 藤井 陽子さん
☆池田まさ子さん
大野田小学校 金子百合子さん
☆市川 祐子さん
境南小学校 古田 順子さん
本宿小学校 高木須磨子さん
千川小学校 伊藤さつきさん
☆吉永 靖浩さん



井之頭小学校 ☆橋爪 恵里さん
関前南小学校 島田 豊文さん
桜野小学校 後藤 真澄さん
☆氏家 順子さん
第一中学校 本郷 伸一さん
第二中学校 土屋 清枝さん
☆大鷲美津江さん
第三中学校 足立 恵子さん
☆村越 直美さん
第四中学校 寺島美美子さん
第五中学校 秋山 聡さん
第六中学校 大谷 壽子さん

地域コーディネーターの活動（4月）

登下校の見守り

新一年生が入学！地域の見守り隊・青少協・民生児童委員の方などに協力依頼をして、地域ぐるみで下校指導のサポートを行いました。

職場体験の受入先探し

中学校2年生の職場体験学習の受入事業所探しを行いました。生徒の希望を最優先に考え、短期間でたくさん連絡調整を行いました。

地域へのあいさつ回り

武蔵野市民科など様々な教育活動へのご協力のお願いと年度初めのあいさつを兼ねて、地元商店会へお伺いしました。

ゲストティーチャーとの連絡調整

社会科や総合の授業でお招きするたくさんの方のゲストティーチャーとの連絡調整を行いました。日中授業がある先生方に代わって、実施の段取りなど細かな打ち合わせを行いました。

年度初めだからこそ一層大切になる「児童・生徒の安全・安心の確保」や、「年間を見通した学習活動の充実に向けた準備」などのために活躍している様子が窺えます。

また、この時期特有の教職員の多忙さの低減や学校・家庭・地域の信頼感の醸成にもつながっています。